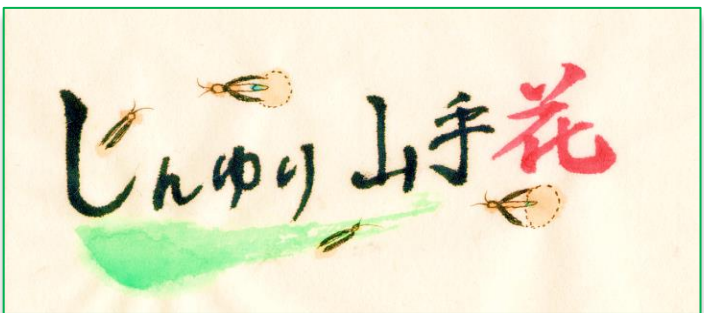
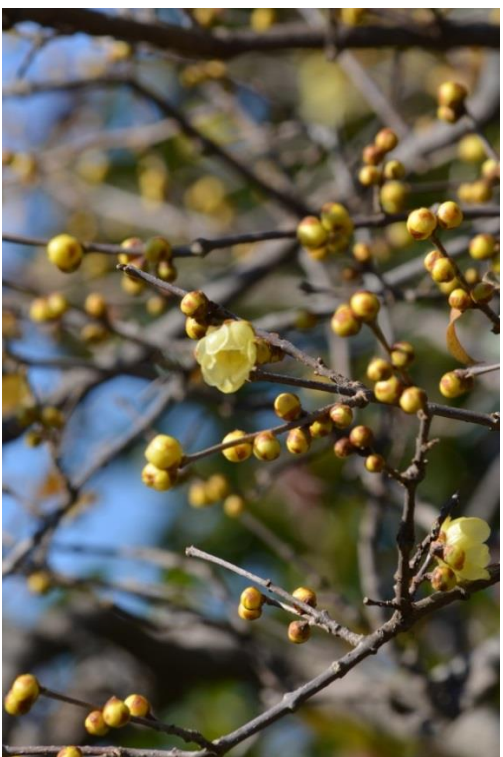




《16》蠟梅(ロウバイ) ロウバイ科

花の少ない十二月の末から一月に透き通った蠟細工のような黄色い花を咲かせています。

中国が原産地で17世紀(江戸時代)に中国から渡来してきました。落葉広葉低木で、花期は1〜3月で、花やつぼみから抽出した生薬は薬効もあり、やけどや解熱、咳止めなどに効果があるとされて珍重されてきました。

蠟梅の名前の由来は、蠟細工のような梅に似た花を咲かせるという説と陰暦の十二月(臘月・現在の一月)ころ咲くことからという説の二つがあります。

春を告げる花「蠟梅」。この花の甘い芳香の香りが漂ってくると暖かい春の到来が近いということを感じさせてくれます。

花言葉は「慈愛」です。

私たちの日々の生活に「ゆとり」と「やすらぎ」を与えてくれる蠟梅の花を探して新百合山手を散歩しましょう。